

世界史 イスラーム史 確認問題集

全19問 / 解答・解説は後半

名前

記事「世界史 イスラーム史の流れ | 成立から3つの帝国まで王朝を整理」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部 一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

1 ムハンマドが生まれた、メッカの商人の部族を何というか。

2 ムハンマドに下された神の言葉を記したものとされる、アラビア語で書かれた114章からなる聖典は何か。

3 信仰告白・礼拝・喜捨・断食・巡礼の5つの義務をまとめて何というか。

4 642年、正統カリフ時代のアラブ軍がササン朝に大勝した戦い是何か。

5 680年、アリーの子フサインがウマイヤ朝の軍に包囲されて戦死した地はどこか。

6 732年、ウマイヤ朝の軍がフランク王国の宮宰カール＝マルテルに敗れた戦い是何か。

7 ジズヤ（人頭税）と並ぶイスラーム世界の租税で、土地にかかる地租を何というか。

8 ブワイフ朝が始めた、軍人に俸給の代わりに土地から税を取る権利を与える制度は何か。

9 1250年に成立し、カイロを都とした、奴隷軍人（マムルーク）出身者が実権を握った王朝は何か。

10 オスマン帝国が、ギリシア正教徒やユダヤ教徒などの非ムスリムにつくらせ、自治を認めた宗教ごとの共同体を何というか。

第2部 正誤問題

次の文ア～エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 イスラームの成立と正統カリフ時代について。

- ア ムハンマドは622年に信者とともにメディナへ移った。
- イ ヒジュラの年は、のちにイスラーム暦の元年とされた。
- ウ 第4代カリフのアリーは、ムハンマドのいとこである。
- エ クルアーンは、第1代カリフのアブー＝バクルのときに現在の形にまとめられた。

12 ウマイヤ朝とアッバース朝について。

- ア ウマイヤ朝の都はダマスカスである。
- イ ウマイヤ朝では、イスラームに改宗した非アラブ人はジズヤを免除された。
- ウ アッバース朝は、751年のタラス河畔の戦いで唐の軍を破った。
- エ アッバース朝では、土地を持つ者はアラブ人でもハラージュを納めた。

13 10世紀から11世紀のイスラーム世界について。

- ア ファーティマ朝は、シーア派の一派イスマーイール派の王朝である。
- イ 後ウマイヤ朝のアブド＝アッラフマーン3世は、929年にカリフを名のった。
- ウ ブワイフ朝のトゥグリル＝ベクは、カリフからスルタンの称号を受けた。
- エ セルジューク朝では、ニザーミーヤ学院が建てられた。

14 16世紀以降の3つの帝国について。

- ア オスマン帝国のメフメト2世は、1453年にコンスタンティノープルを攻略した。
- イ サファヴィー朝は、シーア派の十二イマーム派を国教とした。
- ウ ムガル帝国のアクバルは、非ムスリムにかかるジズヤを復活させた。
- エ ムガル帝国のシャー＝ジャハーンは、アグラにタージ＝マハルを建てた。

第3部 年代の並べ替え

次のア～エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 7～8世紀の出来事を年代順に並べなさい。

- ア アッバース朝が成立した。
- イ ウマイヤ朝が成立した。
- ウ ムハンマドが信者ととともにメディナへ移った。
- エ イベリア半島に後ウマイヤ朝が成立した。

16 王朝の成立を年代順に並べなさい。

- ア セルジューク朝
- イ ファーティマ朝
- ウ マムルーク朝
- エ アイユーブ朝

17 15～16世紀の出来事を年代順に並べなさい。

- ア ムガル帝国が成立した。
- イ サファヴィー朝が成立した。
- ウ グラナダが陥落し、ナスル朝が滅んだ。
- エ オスマン帝国がコンスタンティノープルを攻略した。

第4部 論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 ウマイヤ朝が「アラブ帝国」、アッバース朝が「イスラーム帝国」と呼ばれる理由を、税のしくみにふれながら150字程度で説明しなさい。

19 10世紀から11世紀にかけて、アッバース朝のカリフの立場がどのように変わったかを、ブワイフ朝とセルジューク朝にふれながら120字程度で説明しなさい。

世界史 イスラーム史 確認問題集 解答・解説

第1部 一問一答

1 クライシュ族

クライシュ族の商人は、シリアやイラクなどへ隊商を送る交易で栄えていました。メッカには多くの神々の像をまつるカーバ神殿もありました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／イスラームの成立

2 クルアーン

第3代カリフのウスマーンのときに現在の形にまとめられました。第1代のアブー＝バクルと取りちがえないようにします。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／イスラームの成立（用語の表）

3 五行

信者が信じるべきものとされる6つ（アッラー・天使・啓典・預言者・来世・予定）は六信です。あわせて六信五行と覚えます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／イスラームの成立（用語の表）

4 ニハーヴァンドの戦い

第2代カリフのウマルの時代の戦いです。ササン朝は651年に滅び、その領土はイスラーム世界に併せられました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／正統カリフ時代

5 カルバラー

この出来事をきっかけに、シーア派は宗教的な性格を強め、1つの宗派として発展していきました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ウマイヤ朝

6 トゥール・ポワティエ間の戦い

これによりウマイヤ朝の西ヨーロッパへの進出は止まりました。751年のタラス河畔の戦い（アッバース朝が唐を破る）と区別します。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ウマイヤ朝

7 ハラージュ

ウマイヤ朝では改宗した非アラブ人も納めましたが、アッバース朝では土地を持つ者はアラブ人でも納めることになりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ウマイヤ朝・アッバース朝、比べて覚える

8 イクター制

続くセルジューク朝の時代に、広く行われるようになりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／10世紀の分裂、トルコ人の進出

9 マムルーク朝

1260年のアイン＝ジャールートの戦いでモンゴル軍を撃退しました。1517年にオスマン帝国のセリム1世に滅ぼされます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／トルコ人の進出

10 ミット

納税と引きかえに自治が認められました。キリスト教徒の少年を改宗させて官僚や軍人に育てるデヴシルメと区別します。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／3つの帝国

第2部 正誤問題

11 エ

クルアーンが現在の形にまとめられたのは、第3代カリフのウスマーンのと看です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／イスラームの成立、正統カリフ時代

12 イ

ウマイヤ朝では、改宗した非アラブ人（マワーリー）も租税の免除を認められず、ジズヤやハラージュを納めました。ムスリムのジズヤが免除されたのはアッバース朝からです。

記事の該当箇所：比べて覚える、入試で狙われるポイント

13 ウ

スルタンの称号を受けたのはセルジューク朝のトゥグリル＝ベクです。ブワイフ朝はカリフから大アミールに任じられて実権を握りました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／10世紀の分裂、トルコ人の進出

14 ウ

アクバルはジズヤを廃止してヒンドゥー教徒との融和を図りました。ジズヤを復活させたのはアウラングゼーブです。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／3つの帝国

第3部 年代の並べ替え

15 ウ→イ→ア→エ

ヒジュラ（622年）→ウマイヤ朝の成立（661年）→アッバース朝の成立（750年）→後ウマイヤ朝の成立（756年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

16 イ→ア→エ→ウ

ファーティマ朝（909年）→セルジューク朝（1038年）→アイユーブ朝（1169年）→マムルーク朝（1250年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

17 エ→ウ→イ→ア

コンスタンティノープルの攻略（1453年）→グラナダの陥落（1492年）→サファヴィー朝の成立（1501年）→ムガル帝国の成立（1526年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

第4部 論述問題

- 18 解答例：ウマイヤ朝では征服者のアラブ人が特権を持ち、イスラームに改宗した非アラブ人（マワーリー）も租税を免除されず、ジズヤやハラージュを納めたため、不満が高まった。750年に成立したアッバース朝では、ムスリムであればジズヤを免除し、土地を持つ者はアラブ人でもハラージュを納めることとし、改宗したイラン人なども要職に登用した。

採点のポイント：①ウマイヤ朝でのアラブ人の特権、②マワーリーがジズヤ・ハラージュを負担し不満を持ったこと、③アッバース朝でムスリムのジズヤが免除されたこと、④土地を持つアラブ人もハラージュを納めたこと、⑤非アラブ人の登用、が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ウマイヤ朝・アッバース朝、比べて覚える、論述で使える要点

- 19 解答例：財政の行きづまりでカリフの力が弱まると、946年にシーア派のブワイフ朝がバグダードに入り、大アミールとして政治の実権を握った。続いてセルジューク朝のトゥグリル＝ベクが1055年にバグダードに入り、カリフからスルタンの称号を受けた。カリフは宗教上の権威にとどまり、政治はスルタンが担う形になった。

採点のポイント：①カリフの力の低下、②ブワイフ朝と大アミール（946年）、③セルジューク朝のトゥグリル＝ベクとスルタンの称号（1055年）、④カリフは宗教上の権威、スルタンは政治・軍事の実権という分担、が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／10世紀の分裂、トルコ人の進出、比べて覚える